

# 講義・演習概要

## (シラバス)

地方公会計特別研修第4期

【平成29年4月10日～平成29年4月14日】

## 地方公会計特別研修第4期 シラバス一覧

区分	番号	課目	担当講師	初講義日	頁
<b>1 講義</b>					
	1-1	地方財政における公会計の役割について	溝 口 洋 総務省自治財政局財務調査課長	4月10日	1
	1-2	複式簿記の基礎について	大 川 祐 介 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター部 マネジャー	4月10日	2
	1-3	固定資産台帳整備(資産評価含む)の実務について	大 川 祐 介 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター部 マネジャー	4月11日	3
	1-4	連結財務書類等の作成実務について	利 行 淳 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター部 シニアスタッフ	4月12日	4
	1-5	財務書類の活用事例	小笠原文 紘 精華町 総務部 財政課 財政管理係長	4月12日	5
	1-6	公共施設マネジメントへの取組事例	天 川 竜 治 宇城市 総務部 財政課長	4月13日	6
<b>2 演習</b>					
	2-1	統一的な基準による財務書類等の作成実務について	塩 塚 正 康 有限責任監査法人トーマツ シニアスタッフ	4月11日	7
	2-2	事業別・施設別のセグメント分析	井 上 大 輔 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター部 シニアスタッフ	4月13日	8
	2-3	財務書類を活用した自治体経営分析	小 室 将 雄 有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター部 パートナー	4月14日	9

## 地方公会計特別研修第4期 (平成29年4月10日～平成29年4月15日)

課 目 名	1-1 地方財政における公会計の役割について
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	<p>氏名 溝口 洋 &lt;プロフィール&gt;</p> <p>H 元. 3 東大法卒 H 元. 4 自治省入省 H 6. 4 佐賀県 工業振興課長 H 7. 4 同 財政課長 (～10. 3) H 12. 3 外務省 在英 日本国大使館 一等書記官 H 15. 4 市町村職員中央研修所 調査研究部長・教授 H 15. 10 総務省 自治行政局 公務員部 公務員課 H 18. 5 防衛庁 (省) 防衛 (政策) 局 防衛政策課 企画官 H 20. 7 内閣法制局 第一部 参事官 H 25. 8 総務省 自治税務局 市町村税課長 H 26. 7 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部設立準備室 参事官 9 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 参事官 H 28. 6 現職</p>
ね ら い	<p>地方公会計については、これまで、各地方公共団体において財務書類の作成・公表等に取り組まれてきたところだが、人口減少・少子高齢化が進展している中、財政のマネジメント強化のため、地方公会計を予算編成等に積極的に活用し、地方公共団体の限られた財源を「賢く使う」取組を行うことは極めて重要である。</p> <p>本講義では、地方財政における地方公会計の役割について、特に喫緊の課題である公共施設マネジメントに対する活用について、理解することをねらいとする。</p>
講 義 概 要	<p>地方公会計に関するこれまでの経緯や統一的な基準の概要を中心に講義を行い、喫緊の課題である公共施設マネジメントと地方公会計の関わりについて学び、地方公会計を活用する意義を解説する。</p>
受 講 上 の 注 意	<p>事前に「統一的な基準による地方公会計マニュアル (平成28年5月改定)」を予習しておくことが望ましい。</p>
使 用 教 材	統一的な基準による地方公会計マニュアル
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

## 地方公会計特別研修第4期 (平成29年4月10日～平成29年4月14日)

課 目 名	1-2 複式簿記の基礎について
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 大川 裕介 <プロフィール> 平成7年4月 大阪府庁入庁 (総務部財政課等に勤務) 平成25年1月 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入社 平成25年12月 公認会計士登録
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公会計の導入にあたって必要となる複式簿記・発生主義会計の基本的な仕組みについて解説する。</li> <li>・一般的な簿記の研修にとどまらず、「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」で検討されたマニュアルの趣旨を斟酌し、自治体職員にとって関わりが深い取引や勘定科目を用いた説明により、財務書類作成実務につながるような研修を目指す。</li> <li>・演習では、複式仕訳の基礎的な例題に取り組んでいただくことを通じて、複式簿記の基礎を理解する。</li> </ul>
講 義 概 要	<p>■講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記の意義 (会計の役割、簿記の意味・目的・役割、)</li> <li>・複式簿記の概要 (単式簿記と複式簿記の違い、簿記の5要素、貸借対照表と損益計算書の関係、発生主義固有の処理、等)</li> <li>・地方公会計における仕訳等</li> </ul> <p>■演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体の業務をモデルにした複式簿記の仕訳演習・</li> </ul>
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

## 地方公会計特別研修第4期 (平成29年4月10日～平成29年4月14日)

課 目 名	1-3 固定資産台帳更新の実務について
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 大川 裕介 <プロフィール> 平成7年4月 大阪府庁入庁 (総務部財政課等に勤務) 平成25年1月 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入社 平成25年12月 公認会計士登録
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公会計開始後の新規取得資産や除却資産に係る固定資産台帳の更新や会計処理について、「統一的な基準による地方公会計マニュアル(「財務書類作成要領」及び「資産評価及び固定資産台帳整備の手引き」以下、マニュアルという)」に基づき、事例を交えながら解説する。</li> <li>・ 「今後の新地方公会計の推進に関する実務研究会」で検討されたマニュアルの趣旨を斟酌し、自治体職員が固定資産台帳の更新を行う際にどのような点に留意すべきかを理解する。</li> <li>・ 演習では、固定資産の新規取得の際の取得原価の算定方法について、演習を通じて理解する。</li> </ul>
講 義 概 要	<b>■講義</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始前の固定資産台帳整備の要点 (これまでの作業の確認)</li> <li>・ 開始後の新規取得資産の計上 (開始前の固定資産台帳整備と開始後の固定資産台帳更新の相違点)</li> <li>・ 固定資産の除却処理</li> <li>・ 固定資産台帳更新に係る体制整備等</li> </ul> <b>■演習</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 固定資産の取得原価の算定方法</li> </ul>
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

## 地方公会計特別研修第4期（平成29年4月10日～平成29年4月14日）

課 目 名	1-4 連結財務書類等の作成実務について
時 限 数	3 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 利行 淳 ＜プロフィール＞ 平成 18 年 12 月 監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）入社 平成 22 年 11 月 公認会計士登録
ね ら い	連結財務書類の作成実務について「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき解説する。その内容及び作成にあたり留意すべき点について理解する。特に、連結対象団体（会計）における進め方や純計処理など、対応が難しい箇所について、演習を通じて習得することをねらいとする。
講 義 概 要	<p>■講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務書類とは</li> <li>・連結対象団体</li> <li>・連結財務書類の体系</li> <li>・連結の作成手順の概要</li> <li>・法定決算書類の読替え</li> <li>・法定決算書類の連結修正</li> <li>・純計処理</li> </ul> <p>■演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務書類の基礎</li> <li>・法定決算書類の連結修正</li> <li>・純計処理 等</li> </ul>
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使 用 教 材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

## 地方公会計特別研修第4期 (平成29年4月10日～平成29年4月14日)

課 目 名	1-5 財務書類の活用事例
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	京都府精華町総務部財政課財政管理係 係長 小笠原 文紘 <プロフィール> 平成16年4月 精華町入庁・総務部企画調整課 配属 平成20年4月 総務部財政課 配属
ね ら い	平成26年度に財務書類の統一基準が示され、原則として平成29年度までの作成が必要となった。また、財務書類を作成するだけでなく公共施設マネジメントや予算編成に積極的に活用することが求められている。精華町での統一基準に基づく財務書類作成に向けた取組みや、公共施設更新費用推計への活用イメージの共有を図る。
講 義 概 要	統一基準に基づく財務書類作成に向けた精華町の取組み、とりわけ日々仕訳方式を選択した狙いを考える。また、統一基準の示す固定資産評価基準は一定の幅が許容されているところ、整備後の活用を見据えたうえで活用に資する台帳整備と活用方策を提案したいと考えています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政運営の課題に対応するための公会計</li> <li>・ 公共施設更新費用推計に資する固定資産台帳整備</li> <li>・ 固定資産台帳の正確な維持更新に資する体制 (日々仕訳方式)</li> <li>・ 法定耐用年数に使用可能年数の視点を加えた分析</li> </ul>
受 講 上 の 注 意	なし
使 用 教 材	講義レジュメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

## 地方公会計特別研修第4期 (平成29年4月10日～平成29年4月14日)

課 目 名	1-6 公共施設マネジメントへの取組事例
時 限 数	1 時限
担 当 講 師	氏名 天川 竜治 <プロフィール> 平成20年1月 早稲田大学 パブリックサービス研究所 客員研究員 (現招聘研究員) 平成20年4月 監査法人トーマツ 大阪事務所 パブリックセクター出向 平成21年4月 企画部 企画課 企画係長 平成23年4月 総務部 財政課 財政係長 平成27年4月 総務部 財政課長 平成28年4月 総務省 地方公会計の活用のあり方に関する研究会委員
ね ら い	全ての自治体に対し、平成29年度までに統一基準に基づく財務書類等の作成と、予算編成等での積極的な活用が求められています。宇城市での活用事例の紹介等を交えながら、財務書類等の公共施設マネジメントへの活用イメージの共有を図ります。
講 義 概 要	宇城市の施設白書、財務書類、公共施設等総合管理計画の策定における各種施設データ等の活用事例と公共施設マネジメントを意識した予算編成と事業別・施設別財務書類について解説する。 講義の概要は以下の通り。 1. 将来バランスシートについて 2. 宇城市の施設白書と財務書類 3. 財務書類を活用した公共施設マネジメントへの取り組み 4. 公共施設マネジメントを意識した予算編成と事業別・施設別財務書類
受 講 上 の 注 意	なし
使 用 教 材	講義レジュメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし

## 地方公会計特別研修第4期（平成29年4月10日～平成29年4月14日）

課目名	2-1 統一的な基準による財務書類等の作成実務について
時限数	4 時限
担当講師	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 塩塚 正康 <プロフィール> 平成8年4月 福岡県庁入庁（企画振興部交通対策課等に勤務） 平成19年12月 監査法人トーマツ（現有限責任監査法人トーマツ）入社 平成23年9月 公認会計士登録
ねらい	統一的な基準による財務書類等の作成実務について「統一的な基準による地方公会計マニュアル」に基づき解説する。その内容及び作成にあたり留意すべき点について理解する。特に、作成手順の全体像を踏まえつつ、非資金仕訳など一般的に分かりづらいつと考えられる箇所について、演習を通じて習得することをねらいとする。
講義概要	<b>■講義</b> ・「統一的な基準による地方公会計マニュアル」のポイント解説 ・財務書類等の作成手順について ・非資金取引の処理について ・財務書類作成時の留意事項について 等 <b>■演習</b> ・歳入歳出データから複式仕訳への変換 ・固定資産の取得及び売却 ・引当金の算定 ・投資及び出資金の評価 等
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ 総務省「統一的な基準による地方公会計マニュアル」
効果測定	なし
その他 (他の課目との関連)	なし

## 地方公会計特別研修第4期 (平成29年4月10日～平成29年4月14日)

課 目 名	2-2 事業別・施設別のセグメント分析 (演習含む)
時 限 数	4 時限
担 当 講 師	<p>有限責任監査法人トーマツ 公認会計士 井上大輔          &lt;プロフィール&gt;          平成25年2月 有限責任監査法人トーマツ 入社          平成27年3月 地方監査会計技能士 登録          平成27年8月 公認会計士 登録          平成28年6月 認定ファシリティ・マネジャー 登録          平成28年12月 統計調査士 認定</p>
ね ら い	<p>地方公会計の財務書類の活用の例である事業別・施設別のセグメント分析を行うためには、実務上どのように進めていく必要があるのかを理解する。また、セグメント分析のやり方を理解するとともに、演習を通じて実務の理解を深めることを目標とする。</p>
講 義 概 要	<p>■講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セグメント分析の意義や役割について</li> <li>・事業別・施設別などのセグメント体系の考え方について</li> <li>・セグメント別財務書類の作り方について</li> <li>・地方公会計から得られる財務データと、それ以外の財務データ、非財務データを関連させた分析方法について</li> <li>・セグメント分析結果の読み方について</li> <li>・セグメント分析結果を分かりやすく説明する手法について</li> </ul> <p>■演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想団体を用いて事業別や施設別の財務書類を作成する演習を行う。</li> <li>・講義で理解したセグメント分析の読み方を、実際の事業別財務書類を題材に、演習を行う。</li> </ul>
受 講 上 の 注 意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公会計特別研修の他の科目の応用であるため、それまでの講義を通じて公会計に関する理解が深まっていることが前提となる。</li> <li>・講義前に自団体の予算事業一覧や改訂モデルまたは基準モデル等の過去の財務書類を閲覧しておくことでより効果的な講義となる。(任意)</li> <li>・講義においては、指名をして発言を求められることがある。</li> <li>・演習では、卓上計算機を使用する。</li> </ul>
使 用 教 材	講義レジュメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公会計特別研修の他の科目の応用であるため、それまでの講義を通じて公会計に関する理解が深まっていることが前提となる。</li> </ul>

## 地方公会計特別研修第4期 (平成29年4月10日～平成29年4月14日)

課 目 名	2-3 財務書類等を活用した自治体経営分析 (演習含む)
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	有限責任監査法人トーマツ 行政経営推進室 サブリーダー 公認会計士 小室将雄 <プロフィール> 平成10年10月～ 監査法人トーマツ (現有限責任監査法人トーマツ) 入社 平成16年4月 公認会計士登録
ね ら い	5日間の講義・演習のまとめとして、財務書類等をいかに自治体経営に活用していくかについて、既存の各種財政指標も含めた分析を交えながら解説する。また、演習を通じて実務の理解を深めることを目標とする。
講 義 概 要	■講義・演習 ・財政指標と財務書類に基づく自治体財政分析について
受講上の注意	演習では、卓上計算機を使用する。
使用教材	講義レジュメ
効果測定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	5日間の講義・演習のまとめであるため、それまでの講義を通じて公会計に関する理解が深まっていることが前提となる。

地方公会計特別研修第4期 Syllabus

---

作成：自治大学校教務部

〒190-8581 東京都立川市緑町10番地の1

TEL (042) 540-4502 (教務部直通)

FAX (042) 540-4505 (教務部)

---